



五四運動 100 周年の年明け

明けましておめでとうございます

今年は 1919 年の中国の民主化運動である五四運動から 100 周年の記念の年に当たります。

<五四運動>五四運動(ごしゅうんどう)は、1919年パリ講和会議のベルサイユ条約の結果に不満を抱き発生した、中華民国の北京から全国に広がった抗日・反帝国主義を掲げる大衆運動。5月4日に発生したのでこの名で呼ばれる。抗日・反帝国主義だけではなく反封建主義の側面もあった。フリー百科事典「ウィキペディア(Wikipedia)」より

朝鮮半島でも 3.1 独立運動 100 周年に当たる今年を東アジアの平和と非核化への道筋を確かなものとする年にするか、「戦争できる国づくり」をめざす安倍政権の憲法改正への年にするかは、市民である私たちの意志と行動如何です。

新年に当たり、会員・読者の皆さんが、4月・7月の選挙において、主権者としての意志を示す機会として、より多くの平和を希求する市民との共同の輪を広げることを呼びかけます。

1 月企画は 16 日(水)

1月16日(水)午後1時30分より、藤沢市役所本庁舎5階第3会議室において、「中国百科検定協賛講座—世界遺産の旅」を開催します。

講師は中国渡航歴 150 回にのぼる大橋一夫副支部長(日中友好協会神奈川県連常任理事)。現地で見えてきた最新情報を伝えるとともに、1200 年前に京都の平安宮が街づくりの手本とした唐の都・西安(長安)への観光に誘います。

西安近郊の世界遺産「兵馬俑」、傾国の美女・

楊貴妃ゆかりの「華清池」を紹介。中国語ができなくても、スマホ片手に一人旅する方法をご紹介します。

映画「唐山大地震」に涙

昨年暮れには 11 月 12 日と 12 月 16 日の 2 回にわたり、映画「唐山大地震」の上映会を開催しました。



1976 年 7 月の大地震から 2008 年の四川大地震までの家族のドラマを壮大なスケールで描く中国映画史上の大傑作に、2 回合計 40 名が、すすり泣く声も聞こえる感動の渦でした。

岡崎感想雄児理事の解説の後、感想などを語り合う中では、「昔のつましい中国の雰囲気でおもしろい感じでした」、「地震の倒壊シーンは迫力満点」などの感想が出されました。

「会費前納のお願い」

平素は「日中友好新聞」をご購読いただき、誠にありがとうございます。

これまで後納だった会費を事務の都合上、今年度より前納とさせて頂きたく、以前より早目に請求書を発送させていただきます。

また、1年間まとめてのお支払いも可能でございます。何卒ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



中国映画鑑賞会

妻への家路

日時：2019年2月4日(月) 13:30-15:45

会場：藤沢市役所本庁舎 5階第3会議室

資料代：300円

妻への家路 (原題: 帰来) 2014年 中国映画

チャン・イーモウ監督が『活きる』『サンザシの樹の下で』に次いで文化大革命を題材とした映画。原作は嚴歌苓(ゲリン・ヤン)の同名小説。イーモウが『紅いコーリャン』でデビューして以来のコンビであるコン・リーを主演に起用。

文化大革命で引き裂かれた夫婦。妻は衝撃と極度のストレスで夫の記憶だけを失う。絶望的状況のなかで夫は幾度も幾度も妻への家路をたどる。ハッピーエンドはない。私はこの映画は何回も観ているが、見る度に夫の妻への限りない愛を感じる。文化大革命への直接の批判はないが映画全体はそれに厳しく問いかけている。ハッピーエンドがないことがさらにそれを重いものになっている。(大森 猛)



藤沢駅北口 大船方面徒歩5分

日本中国友好協会湘南支部 (ニエ・アルをしのぶ会) 主催

<http://nicchushounan.sakura.ne.jp/>

TEL&FAX:0466-33-4003 Email: myama@cityfujisawa.ne.jp